



～戮力協心～ NO.24

2023年1月27日

発行責任者 池尻 和寛

編集責任者 情 宣 部

経団連労使フォーラム、開催！
労使ともに“賃上げ重要”と呼びかけ！

2023春闘、事実上スタート！！

今年の春季生活闘争(春闘)での賃上げの方針などを説明する『労使フォーラム』が24日に開催され、**2023春闘が事実上のスタート**を切った。この中で連合と経団連の両会長は、物価上昇が続く中、「賃上げが重要になっている」と呼びかけた。

連合の芳野会長は、「過去20年間で経済は成長しても労働者に分配されてこなかった」と述べた。その上で、「これまで以上に思い切った“人への投資”が必要であり、今年もGDPも、賃金も、物価も安定的に上昇する経済へとステージを転換するターニングポイントにすべき」と訴え、**5%程度(平成7年以来の水準、ベア3%+定期昇給2%)の賃上げを求め**る方針を説明した。

経団連の十倉会長は、「春闘においてこれほど強く物価動向への考慮が求められた記憶はない」とした上で、「賃金と物価の好循環の実現にむけた正念場かつ絶好の機会と位置付けている」と、**ベースアップの重要性を確認し、物価動向を特に重視しながら、企業の社会的責務として、賃上げへの積極的な対応を呼びかけた。**

物価上昇が止まらない！今春闘が生活苦打開の正念場！！

昨年12月の**消費者物価指数は前年同月と比べ4.0%の上昇**と歴史的伸び率となった。さらに、**今年の4月までに7,152品目の値上げ**が予定されており、値上げラッシュは留まるところを知らない。加えて、ロシアによるウクライナ軍事侵攻は停戦の兆しが見えないことから、**原油高・原材料費の高騰の長期化**が予想され、**我々の生活は一層苦しさを増すことになる。**

22春闘では、同じく物価上昇により圧迫される青年部員の生活実態を訴え、闘いをつくり出した結果、基本給×0.1%のベア+定期昇給の賃上げを勝ち取った。しかし、予想をはるかに超える勢いで物価は上がり続け、実質賃金は低下していった。その中で全国の青年部員は、コロナ第7波・8波におびえ、職場では慢性的な要員不足を抱えながらも、指定公共機関としての使命を果たし、安全・安定輸送を担ってきた！会社は、その労苦に報いるべきではないのか？！**余裕のある“生き生きとした”生活を送るには、今春闘でベアを勝ち取る以外にない！！**

2月4日(土)第35回定期中央委員会にて、『2023JR総連春闘』におけるJR貨物労組の方針が決定されます。

今、そして未来の生活実態に見合ったベアを！！
全青年部員の団結力を示し、最後まで2023春闘を闘い抜こう！！